

施策評価(平成30年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	2	地域とともに歩む魅力ある産業の育成
施策	21	観光
基本方針		
<p>自然、歴史、文化など観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。</p>		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
新たな観光資源の発掘・研究	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
さまざまな媒体を活用した情報発信・シティプロモーションの強化	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
サイクリングステーションの整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
国際化対応の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
観光スポット周辺環境の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭り等の充実	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
観光協会の機能強化の支援	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
はむらの水PR事業の充実	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
農商観連携施設の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
農商観連携事業の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

施策21「観光」では、10事業について評価を実施した。

進捗状況については、「はむらの水PR事業の充実」については、水の保全に関する宣言について、庁内プロジェクト会議において、制定に向けた意見の集約などに努めていくと整理したことから、「計画を見直し完了」としているほか、「新たな観光資源の発掘・研究」などの9事業については、「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。

本施策の基本方針は、「観光資源の活用と一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図る」ことであり、「サイクリングステーションの整備」及び、「農商観連携施設の整備」においては、整備の具現化に向けて、産業関連施設全体の構想を検討する中で、施設の整備に向けて段階的に検討していく必要がある。一方、「さまざまな媒体を活用した情報発信・シティプロモーションの推進」では、VR等を活用し、市の観光資源を広く発信するなどの取組みを実施したほか、「花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭り等の充実」では、一部のイベントでは、天候に左右されたものの、集客については一定の成果が得られるなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 新たな観光資源の発掘・研究		年				
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	21	観光	管理No.	112

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	観光協会・商工会・大学などと連携し、羽村堰、玉川上水、動物公園等の既存の観光資源の価値を高めるとともに、新たな観光資源の発掘・活用について研究を進め、魅力の創出を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	関係機関との調整	新たな観光資源の活用	同左	同左
	近隣自治体との共同事業 「女子旅推進プロジェクト」の検討	同左 冊子の編集	同左 動態調査、結果反映	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	2人	20H	2人	20H	2人	20H	2人	20H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費				
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)	134	134	134	134
総事業費(合計)	184	184	184	184
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	184	184	184	184
財源内訳(合計)	184	184	184	184

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 円

イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円

ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

近隣自治体との共同事業「女子旅推進プロジェクト」の企画を具現化し、2月に旅行ガイドブック「ことりっぷ」を編集・12,000冊発行した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	2人	20H	2人	20H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○新たな観光資源の活用 ○近隣自治体との共同事業「女子旅推進プロジェクト」の検討・冊子の編集	⇒ ○新たな観光資源の活用 ○冊子の編集 12,000冊発行

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法率) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成31年2月に旅行ガイドブック「ことりっぷ」を女子旅推進プロジェクト事業において発行した。この冊子をきっかけに一年を通して女性の誘客を見込め、地域がにぎわう観光の振興に努めた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

青梅線沿線自治体と連携した「女子旅推進プロジェクト」のほか、新たな観光資源の発掘に努め、1年を通して地域が活性化する取組みを推進している。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	さまざまな媒体を活用した情報発信・シティプロモーションの強化	不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課	情報管理課、企画政策課					
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	21	観光	管理No.	113

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	テレビ、新聞、各種情報誌などさまざまなメディアを活用した効果的なPR活動を推進します。また、市の観光資源をバーチャルリアリティで紹介するシステムを導入し、イベントなどでの活用を図るなど情報発信機能を強化します。
根拠法令	区市町村観光インフラ整備
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	テレビ、新聞、各種情報誌等のメディアを活用してPR活動を実施	同左	同左	同左
	産業祭でVR(バーチャルリアリティ)を活用した産業のPRを実施	同左	同左	同左
	観光案内所でのバーチャルリアリティ映像の配信	同左	同左	同左
	情報通信機器の活用の調査・研究	情報通信機器の導入検討 羽村駅・小作駅等へのWi-Fi環境の整備・活用	情報通信機器の導入 羽村駅・小作駅等でのWi-Fiの活用	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	20H	1人	20H	1人	20H	1人	20H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			2,000	
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)	67	67	67	67
総事業費(合計)	117	117	2,117	117
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	117	117	2,117	117
財源内訳(合計)	117	117	2,117	117

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

はむら花と水のまつり等のイベントについては、定例記者会見や広報紙、市公式サイト等の様々な媒体を活用し、PR活動を行った。また、バーチャルリアリティを活用し、第49回産業祭において改装後の動物公園などの映像を新たに追加するなど、市のPRを来訪者に効果的に実施した。
羽村駅・小作駅等に設置するWi-Fiについて、活用方法等の検討を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10 H	1人	10 H
主事・主任職	1人	20 H	1人	20 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○テレビ、新聞、各種情報誌等のメディアを活用してPR活動を実施 ○産業祭でバーチャルリアリティを活用した産業のPRを実施 ○観光案内所でのバーチャルリアリティ映像の配信 ○情報通信機器の導入検討 ○羽村駅・小作駅等へのWi-Fi環境の整備・活用		○テレビ、新聞、各種情報誌等のメディアを活用してPR活動を実施 ○産業祭でバーチャルリアリティを活用した産業のPRを実施 ○観光案内所でのバーチャルリアリティ映像の配信 ○情報通信機器の導入検討 ○羽村駅・小作駅等へのWi-Fi導入の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

市外からの来訪者に市の魅力を効果的に発信するには、様々な媒体を活用して取り組んでいくことが重要であり、VRなどを活用し、市の観光資源を広く発信していくことで来訪者を呼び込み、賑わいの創出を図った。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

小作駅や羽村駅等に設置していくWi-Fiについて、活用方法の検討を行い情報発信の充実を図る。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業企画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 サイクリングステーションの整備		平成 27 年	その他	自治事務(市独自)	その他	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	21	観光	管理No.	114

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	多摩川沿いや奥多摩街道を走るサイクリストやランナーをターゲットに休憩スペースや情報コーナーを備えたサイクリングステーションの整備に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	農商観連携施設と一体的な施設として基本構想の策定	サイクリングステーションと一体的な施設の事業者の選定 ※事業を検討する中で事業費を算出	農商観連携施設と一体的な施設の整備	農商観連携施設と一体的な施設の運用

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	150 H	1人	150 H	1人	150 H
主事・主任職	1人	50 H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	498	746	746	746
人件費(主任・主事職)	167			
総事業費(合計)	665	746	746	746
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	665	746	746	746
財源内訳(合計)	665	746	746	746

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

多摩川沿いや奥多摩街道を走るサイクリストやランナーをターゲットに、休憩スペースや情報コーナーを備えたサイクリングステーションの整備に向けて取り組んだ。産業関連施設全体の構想を検討する必要があるため、引き続き事業者の選定・検討に取り組む。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	150 H	1人	150 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○農商観連携施設と一体的な施設の事業者の選定	○農商観連携施設と一体的な施設の事業者の選定・検討

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

羽村市長期総合計画に記載した水辺を活用した賑わいの創出に、サイクリングステーションが位置づけられており、市有地の有効活用について検討するにあたり、活用方法を民間事業者のアイデア等を求め、対話を通じて市場性の有無等を把握するサウンディング調査を踏まえ、施設の整備に向け検討する。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

サイクリストの動線やニーズの把握に努めるとともに、産業関連施設全体の構想を検討する中で、サイクリングステーションの整備に努める。

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 国際化対応の推進		平成 27 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課	東京オリンピック・パラリンピック準備室					
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	21	観光	管理No.	115

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	観光のグローバル化が進む中で、市を訪れる外国人も今後増加することが予想されるため、案内表示のユニバーサル化や観光ガイドの育成、宿泊環境の充実などの国際化に向けた取組みを進めます。
根拠法令	区市町村観光インフラ整備
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	外国語版ガイドマップの作成(タイ・インドネシア 各1万部) 外国人向けの観光ガイドの育成	観光のグローバル化に向けた調査・検討	観光協会と連携して、外国語版観光ガイドの作成	外国語版観光ガイドの活用
		外国語版ガイドマップの活用	同左	同左
		案内表示のユニバーサル化の検討 ※ユニバーサル化の検討の中で事業費を算出	案内表示のユニバーサル化	
		同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	901		-	-
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	167	167	167	167
総事業費(合計)	1,218	317	317	317
国庫支出金				
都支出金	450			
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	768	317	317	317
財源内訳(合計)	1,218	317	317	317

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	6	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果(物)		の出来高		円
※ 対象者:				

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市の施設や商工会、観光案内所、東京都観光情報センター、羽田空港などに外国語版ガイドマップを設置したほか、観光のグローバル化や案内表示のユニバーサル化に向けて検討を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	30 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	30 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○観光のグローバル化に向けた調査・検討 ○外国語版ガイドマップの活用 ○案内表示のユニバーサル化の検討 ○外国人向けの観光ガイドの育成		○観光のグローバル化に向けた調査・検討 ○外国語版ガイドマップの活用 ○案内表示のユニバーサル化の検討 ○外国人向けの観光ガイドの育成に向けた検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

観光のグローバル化に向け、外国語版ガイドマップを市の施設や東京都観光情報センター、羽田空港などに設置し、観光のグローバル化に向けた取組みを進め、観光の振興を図った。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

案内表示のユニバーサル化の検討、外国人向けの観光ガイドの育成に取り組む。外国人向けの観光ガイドの育成を進める。また、法律が施行された住宅宿泊事業(民泊)については、他の自治体の取組み状況などに関する情報収集に努め、今後の参考とする。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 観光スポット周辺環境の整備		不明	年 継続	自治事務(市独自)	その他	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	21	観光	管理No.	116

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	来訪者の快適性を向上させ、目的地までの円滑な移動や市内を周遊しやすくするため、観光スポット周辺への観光案内標識の設置や駐車場、トイレなどの整備を進めます。
根拠法令	多摩島しょ地域観光施設整備等補助事業
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	市内を周遊するための観光用レンタサイクルの支援	同左	同左	同左
	観光案内標識の設置の検討	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	観光案内標識の設置	
	観光案内所の設置			
	観光駐車場の整備			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	10H	1人	30H	1人	60H	1人	30H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			-	
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	34	100	200	100
総事業費(合計)	184	250	350	250
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	184	250	350	250
財源内訳(合計)	184	250	350	250

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

観光協会が実施するレンタサイクル事業の支援に努めた。また、観光案内標識(デジタルサイネージ)の設置については、有効な設置場所の検討、他自治体の実例や財源となる補助金の獲得に向けた情報収集を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	30H	1人	30H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○市内を周遊するための観光用レンタサイクルの支援 ○観光案内標識の設置の検討		○市内を周遊するための観光用レンタサイクルの支援 ○観光案内標識の設置の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

レンタサイクルの支援や、観光案内標識の設置に関する検討など、来訪者の快適性を向上させ、地域がにぎわう観光振興の一助となり、一定の成果が得られた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

サイクリングステーションの整備と合わせて、事業展開する。また、デジタルサイネージの導入についても具現化に努める。整備完了後は観光協会での運営を検討する。

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法
00 花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭り等の充実		年			
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	21 観光	管理No.	117

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	市の主要な観光イベントである花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭りなどの集客に結びつくよう、より一層の内容の充実を図るとともに、羽村の独自性を前面に出した新たなイベントの開催についても検討します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市補助金等交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	イベント内容の充実 花と水のまつり 160,000人 夏まつり 100,000人 ふるさと祭り 24,000人 産業祭 90,000人 はむらイルミネーション 8,000人 はむらにぎわい音楽祭等	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	900H	1人	900H	1人	900H	1人	900H
主事・主任職	2人	1,800H	2人	1,800H	2人	1,800H	2人	1,800H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	57,281	46,590	46,590	46,590
人件費(係長職)	4,474	4,474	4,474	4,474
人件費(主任・主事職)	11,985	11,985	11,985	11,985
総事業費(合計)	73,740	63,049	63,049	63,049
国庫支出金				
都支出金	1,750	1,646	1,646	1,646
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	71,990	61,403	61,403	61,403
財源内訳(合計)	73,740	63,049	63,049	63,049

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

花と水のまつりは好天に恵まれ、桜、チューリップともに例年より早く満開を迎えたこともあり、約150,000人が来場し賑わった。夏まつりは「彩」をテーマに開催した。初日は台風12号の接近により中止としたが、2日目は例年以上の人出があり、約70,000人が来場した。産業祭は「キラリ」をテーマに開催。産業の魅力を発信し約90,000人が来場した。そのほか、ふるさと祭りは7,500人、はむらイルミネーションは16,000人、はむらにぎわい音楽祭は4,500人が来場し、計画事業についてはすべて計画通り実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	46,590		46,590	46,434	99.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	900 H	1人	900 H
主事・主任職	2人	1,800 H	2人	1,800 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○イベント内容の充実 花と水のまつり 160,000人 夏まつり 100,000人 ふるさと祭り 24,000人 産業祭 90,000人 はむらイルミネーション 8,000人 はむらにぎわい音楽祭等		○イベント内容の充実 花と水のまつり 150,000人 夏まつり 70,000人 ふるさと祭り 7,500人 産業祭 80,000人 はむらイルミネーション 16,000人 はむらにぎわい音楽祭 4,500人

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法率) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

一部のイベントでは、天候に左右される結果だったが、集客については一定の成果が得られ、賑わいを創出するとともに産業振興の充実を図ることができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

既存のイベント内容について、羽村らしさや独自性のある企画を立案し、魅力発信と集客の増加を図るよう、実施主体に対して働きかける。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 観光協会の機能強化の支援		昭和 53 年	継続	自治事務(市独自)	旅行者への補助・助成	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	21	観光	管理No.	118

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	観光協会に対する運営支援、観光PR等の事業支援を行うなど、機能強化を図る取組みを支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市補助金等交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	補助金の交付・運営支援	同左	同左	同左
	観光PR等の事業支援	同左	同左	同左
	法人設立後の支援	同左	同左	同左
	事務局の移転支援			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	11H	1人	11H	1人	11H	1人	11H
主事・主任職	1人	12H	1人	12H	1人	12H	1人	12H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	7,836	7,836	7,836	7,836
人件費(係長職)	55	55	55	55
人件費(主任・主事職)	40	40	40	40
総事業費(合計)	7,931	7,931	7,931	7,931
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	7,931	7,931	7,931	7,931
財源内訳(合計)	7,931	7,931	7,931	7,931

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

観光協会に対する補助金交付及び運営支援のほか、市外で開催される観光PR事業等への参加支援を行うなど、機能強化を図った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	7,836		7,836	7,836	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	11 H	1人	11 H
主事・主任職	1人	12 H	1人	12 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<input type="checkbox"/> 補助金の交付・運営支援 <input type="checkbox"/> 観光PR等の事業支援 <input type="checkbox"/> 法人設立後の支援		<input type="checkbox"/> 補助金の交付・運営支援 <input type="checkbox"/> 観光PR等の事業支援 <input type="checkbox"/> 法人設立後の支援

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法率) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

羽村駅から羽村堰への動線上にある観光案内所を開所したことで、市外から来訪される観光客が気軽に立ち寄れる環境が整備された。これにより市の観光資源を広く周知することができ、魅力を発信することができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き、機能強化に向け支援を行う。

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道業務課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	はむらの水PR事業の充実 ※施策32に事業内容を掲載	平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01						
02						
03						
04						
05						
関連課		環境保全課、産業振興課				
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	32	上水道	管理No.	119

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	独自の水道事業を展開する羽村市を前面に出し、「安くておいしい良質な水」を利用する価値を広く周知することで、市民の羽村市への愛着を育むとともに、市へ進出、移住を検討する企業・住民をターゲットとしたシティプロモーションに取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	リーフレット「水だより」を作成し、水道使用者に向けて全戸配布実施	同左	同左	同左
	市内不動産事業者にリーフレット「水だより」の窓口配布を依頼	同左	同左	同左
	イベント等において水の飲み比べ「きき水」の体験実施	水の飲み比べ「きき水」体験事業は各イベントにおいて実施していく	同左	同左
	水の保全に関する宣言の制定準備	水の保全に関する宣言の制定	同左	同左
		「水はむら」オリジナルラベルの製造	同左	同左
	水道応援団(仮称)の立ち上げ	水道応援団(仮称)の活動支援	同左	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	30H	1人	40H	1人	40H	1人	40H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	108	756	756	756
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	100	134	134	134
総事業費(合計)	358	1,040	1,040	1,040
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額		756	756	756
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	358	284	284	284
財源内訳(合計)	358	1,040	1,040	1,040

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

		指示事項・改善内容
無 <input type="checkbox"/>	有 <input checked="" type="checkbox"/>	水資源の保全と活用は、羽村市固有の特色ある重要施策であり、羽村市の魅力として全国に向けPRしていくことが有効である。 関係各部により連携を図り、宣言などの制定に向け、検討を進め、公表に向けた取組みを進めること。 また、「水はむら」の販売促進については、営業を行う視点をもって努めること。

②活動実績

○リーフレット「水だより」を作成し、水道使用者に全戸配布するとともに市内不動産業者に窓口配布を依頼した。
○市内イベントの「はむら花と水のまつり」「水道週間」「環境フェスティバル」「はむら夏まつり」、市外イベントの「西多摩フェア(イオンモール日の出)」、「ツーリズムEXPOジャパン2018(東京ビッグサイト)」に参加し、「きき水」や「水はむら」の販売を行い、はむらの水のPRを行った。
○「水はむら」オリジナルラベルの製造希望者(2団体)に4,032本(168箱)のオリジナルラベルを製造した。
○水道応援団を立ち上げ、10月及び3月に水道応援団の参加者を対象とした施設見学会及び意見交換会を実施した。
○水の保全に関する宣言の制定について、庁内のプロジェクト会議において、意見を集約し検討を進めていくこととした。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	756		756	523	69.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○「水だより」の作成、配布 ○「きき水」体験の実施 ○水の保全に関する宣言の制定 ○「水はむら」オリジナルラベルの製造 ○水道応援団(仮称)の立ち上げ	⇒ ○「水だより」の作成、配布 ○「きき水」体験の実施 ○水の保全に関する宣言の検討 ○「水はむら」オリジナルラベルの製造 ○水道応援団の立ち上げ

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

健全な水道事業経営を行うために、安くておいしい良質な「はむらの水」を広く周知し、水道水の需要を高めていくことが必要であり、平成30年度は、体験型PR事業である「きき水」を市内外で実施し、1,900人を超える方に「はむらの水」を体感いただくことができた。
新規の取組みとして「水はむら」オリジナルラベルの製造(計4,032本)、水道応援団の立ち上げ及び意見交換会などの活動支援を行うとともに、ペットボトル水「水はむら」の販売を、JR青梅線小作駅売店で新規に開始し、羽村市のおいしい水を広く周知することができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

○リーフレット「水だより」の内容を更新して継続する。
○水道応援団の継続的な活動の支援を行う。
○「水はむら」のオリジナルラベルの製造や販売先拡大等の充実を図る。
○水の保全に関する宣言の制定については、庁内プロジェクト会議において、意見を集約し進めていくこととする。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	農商観連携施設の整備 ※施策19に事業内容を掲載(施策20と重複)	年	継続	自治事務(市独自)	その他	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	21	観光	管理No.	120

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	市内の農産物や名産品・特産品を販売し、あわせて市の地域資源、観光情報の発信を、一年を通じて行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	サイクリングステーションと一体的な施設として基本構想の策定	サイクリングステーションと一体的な施設の事業者の選定 ※事業を検討する中で事業費を算出	サイクリングステーションと一体的な施設の整備	サイクリングステーションと一体的な施設の運用

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	25 H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	249	249	249	249
人件費(主任・主事職)	84			
総事業費(合計)	333	249	249	249
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	333	249	249	249
財源内訳(合計)	333	249	249	249

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市内の農産物や名産品、特産品を販売し、合わせて市の地域資源、観光資源の発信を一年を通じて行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備に向けて取り組んだ。なお、サイクリングステーションとの一体的な施設も含めて検討する必要があることから、引き続き事業者の選定・検討に取り組むこととした。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○サイクリングステーションと一体的な施設の事業者の選定	○サイクリングステーションと一体的な施設の事業者の選定・検討

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

産業振興計画を推進していく上で、市内の農産物や名産品・特産品の販売、市の地域資源、観光情報の発信を行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備は必要であるため、引き続き検討する。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

産業関連施設全体の構想を検討する中で、農商観連携施設の整備に努める。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	農商観連携事業の推進 ※施策19に事業内容を掲載(施策20と重複)	不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	21	観光	管理No.	121

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	農業、商業、観光が連携し、花と水のまつりなどのイベント会場や観光案内所等でのマルシェの開催など、市内の逸品や農産物等の販売を推進します。また、市内商店・飲食店での羽村市産の農産物の利用促進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	農商観とのマッチングのコーディネート検討	農商観とのマッチングのコーディネート 4件	同左 4件	同左 4件
	産業祭での激辛メニューの特別企画の開催や観光案内所ではむらマルシェの開催 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	同左 6回	同左 6回	同左 6回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費				
人件費(係長職)	249	249	249	249
人件費(主任・主事職)	167	167	167	167
総事業費(合計)	416	416	416	416
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	416	416	416	416
財源内訳(合計)	416	416	416	416

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

はむらイルミネーションイベントにおける「激辛フェス」において、羽村産の唐辛子を使用したメニューを提供する農商観連携事業を実施した。また、「はむら花と水のまつり」期間中に観光案内所ではむらマルシェを開催したほか、商業協同組合による15日市の開催(6回)を支援した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○農商観とのマッチングのコーディネート 4件 ○産業祭での激辛メニューの特別企画の開催や観光案内所ではむらマルシェの開催 2回 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 6回		○農商観とのマッチングのコーディネート 3件 ○観光案内所ではむらマルシェの開催 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 6回

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

農業、商業、観光それぞれの分野において振興につながり、産業全体を活性化できる事業となっている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

「激辛フェス」定着に向け、農商観マッチング支援の増加に努めるほか、市外からの来訪者の増加に繋がる、農業、商業、観光の連携充実について関係団体と継続して協議する。